

令和 7 事業年度

決 算 報 告 書

【 第 22 期 】

自：令和 7 年 4 月 1 日

至：令和 8 年 3 月 31 日

国立大学法人 京都大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人 京 都 大 学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	55,065	59,187	4,122	(注1)
うち補正予算による追加	—	1,999	1,999	
施設整備費補助金	2,820	3,501	681	(注2)
補助金等収入	6,788	8,855	2,067	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	77	77	—	
自己収入	61,111	64,394	3,283	
授業料、入学科及び検定料収入	11,762	11,018	△ 744	
附属病院収入	45,575	48,589	3,014	
財産処分収入	—	1	1	(注4)
雑収入	3,774	4,786	1,012	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	56,016	61,345	5,329	
引当金取崩	—	412	412	(注6)
長期借入金収入	642	407	△ 235	(注7)
前中期目標期間繰越積立金取崩	61	16	△ 45	(注8)
目的積立金取崩	570	733	163	(注9)
出資金	2,013	3,301	1,288	(注10)
計	185,163	202,228	17,065	
支出				
業務費	113,909	118,899	4,990	
教育研究経費	70,550	71,624	1,074	(注11)
うち教育・研究基盤維持事業	—	1,992	1,992	
うち設備災害復旧事業	—	6	6	
診療経費	43,359	47,275	3,916	(注12)
施設整備費	3,539	3,992	453	(注13)
補助金等	6,788	7,357	569	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	56,016	57,053	1,037	
長期借入金償還金	2,898	2,904	6	
出資金	2,013	1,713	△ 300	(注14)
計	185,163	191,918	6,755	
収入－支出	—	10,310	10,310	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、当初予算段階では予定していなかった補正予算等が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が4,122百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、当初計画が変更されたことにより、予算額に比して決算額が681百万円多額となっております。
- (注3) 当初予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得等により、予算額に比して決算額が2,067百万円多額となっております。補助金等収入には、授業料等減免費交付金1,172百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 財産処分収入については、土地及び建物の売却によって、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、主として施設利用料収入等によって、予算額に比して決算額が1,012百万円多額となっております。
- (注6) 引当金取崩については、賞与引当金の取崩を行ったこと等により、予算額に比して決算額が412百万円多額となっております。
- (注7) 長期借入金収入については、当初計画が変更されたことにより、予算額に比して決算額が235百万円少額となっております。
- (注8) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、当初計画が変更されたことにより、予算額に比して決算額が45百万円少額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、当初計画が変更されたことにより、予算額に比して決算額が163百万円多額となっております。
- (注10) 出資金については、株式売却に伴う分配金の受入等により、予算額に比して決算額が1,288百万円多額となっております。
- (注11) 教育研究経費については、(注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,074百万円多額となっております。
- (注12) 診療経費については、附属病院収入の増加に伴い診療経費が増加したこと等により、予算額に比して決算額が3,916百万円多額となっております。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が453百万円多額となっております。
- (注14) 出資金については、計画の一部を翌年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が300百万円少額となっております。